

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<u>30</u>

事業所番号	3972100444
法人名	医療法人 岩河会
事業所名	グループホーム びらふ
訪問調査日	平成 19年 12月 6日
評価確定日	平成 20年 2月 29日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3972100444
法人名	医療法人 岩河会
事業所名	グループホーム びらふ
所在地 (電話番号)	高知県香美市香北町美良布1298 (電話)0887-59-2389

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成19年12月6日	評価確定日	平成20年2月29日

【情報提供票より】(19年11月8日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年12月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人
職員数	15人	常勤	13人, 非常勤 2人, 常勤換算 14.6人

(2) 建物概要

建物形態	併設/ 単独	新築 /改築
建物構造	鉄筋、木造	造り
	2階建ての	1階 ~ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000円	その他の経費(月額)	21,000円	
敷金	有()円	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	300円	昼食	400円
	夕食	400円	おやつ	円
	または1日当たり 1100円			

(4) 利用者の概要(12月6日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名
要介護1	4名	要介護2	5名		
要介護3	5名	要介護4	2名		
要介護5	名	要支援2	2名		
年齢	平均 82.2歳	最低	79歳	最高	99歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	びらふ診療所、岩河整形外科、同仁病院、高橋歯科医院、佐々木歯科診療所
---------	------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

山間部に位置するこの事業所は、当たり前前の生活を送るために、利用者同士がそれぞれに関心を持ち、心を寄せ合い、いきいきとした活気の中で過ごすことができています。管理者をはじめ職員が利用者に寄り添い、日々の暮らしを支えていることは言うまでもない。これらを裏付けているものとして、居室は個性的で、そこでの暮らしは生活の匂いがするものとなっている。共有空間も落ち着ける場所になっており、田舎の暮らしがそこにある。食事も地元の食材を使用し、色彩も豊かで薄味である。利用者同士で支えあい、地に足の着いた日々の暮らしを送っている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>改善点は、「検診の結果をホームで保管」「ホーム独自の便りの発行」「1日に必要なカロリーや水分摂取の把握」「緊急時の手当てや薬の副作用の理解と共有」であった。これらは職員に周知し検討しているが、改善計画がなく、一部改善に至っていないものもある。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>サービス評価の意義や、目的は職員に周知し前向きに取り組んでいる。</p>
重点項目 ②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議のメンバーは、家族代表、包括支援センターの職員で、地域住民の参加がなく、推進会議の討議内容は、事業所の取り組み概要と状況報告が主となっている。運営推進会議設置の意義、目的等を再確認するとともに、サービスの向上に向けて、2ヵ月に1度は運営推進会議を開催されることを期待する。</p>
重点項目 ③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>苦情は1件あり、管理者を中心に話し合い、理事長に報告。解決策を手紙で家族に送付し対応したが、苦情解決のプロセスの中で、苦情の要因が分析されておらず、また解決の具体策が明確になっていない。今後、家族会のあり方や、苦情解決のためのマニュアルも作成することを検討されたい。</p>
重点項目 ④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会には入会しておらず、回覧板等での情報はないが、地域特性もあり、利用者や職員の地域における関係性は良好である。地域の方に、利用者のことも認知されている。事業所が行う防火訓練において、近隣のコンビニエンスストアの職員が参加するなど連携はある。利用者や職員も地元出身であることなどから、地域に溶け込んだ暮らしができる要因となっている。現状の暮らしが継続できるよう、職員の一層の頑張りを期待する。</p>

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である。 〔これまでの理念に、住みなれた地域で、地域との関係性を継続していく内容を追加している。〕		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 〔月1回行われる合同部署会や、各ユニットで行う部署会で理念について話し合いが行われている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 〔日々のサービスの中で、家事の好きな利用者は家事に取り組むなど、その人らしい生活を送ることができるよう、具体的に理念を反映したサービスを提供している。職員も理念を理解している。〕		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に加入している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 〔地域の夏祭りや運動会、敬老会に参加したり、町の文化祭に作品を出展するなど、地域との交流がある。〕	<input type="checkbox"/>	地域密着型サービスは、地域とつながりを持ちながら、暮らし続けることを支援するサービスである。地域の一員として、地域の中で暮らし続けることの重要性を認識し、どうあるべきか検討されることを期待する。
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 〔サービス評価の意義や目的は職員全員に周知し、取り組んでいる。〕 <input type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 〔 〕	<input type="checkbox"/>	改善計画を作成し、具体的かつ計画的に取り組む、その過程も明らかにしていくことが求められる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 〔 〕 <input type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 〔外部評価の結果を報告、改善事項についても報告はしている。〕	○	運営推進会議のメンバーに、地域住民の代表は含まれていない。民生委員や町内会長、老人クラブの会員等への働きかけなども含め検討されたい。また運営推進会議は、事業所のサービス内容や外部評価の結果等について話し合い、出された意見等を踏まえてサービスの向上に活かしていくことが期待される。おおむね2カ月に1回、定期的に開催されたい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 〔地域包括支援センターから、研修会や地域の運動会の誘いがあり、入退居に係る事等は、行政担当課に相談するなど、交流は活発である。〕		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 〔家族の面会時には、積極的に近況報告を行なっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 〔月次報告書を3カ月に1度、利用者の担当職員が日常の暮らしぶりなどを記載し、写真も入れ、家族に送付している。「グループホームびらふ」も発行している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について用途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 〔報告はできているが、来所時に家族の確認を得るようにされたい。また利用者の小口の金銭管理についても契約書等に文書化し、金銭管理の透明性を高めるよう取り組まれたい。〕		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 〔家族の参加は5～6名に留まっているが、行事の終了後などに、お茶を飲みながら和やかに行われている。〕 <input type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 〔 〕	○	1度苦情があった。職員で話し合い理事長に報告し、解決策を手紙で家族に送付しているが、苦情解決のプロセスの中で、苦情の要因が分析されておらず、また、解決の具体策が明確になっていない。今後、家族会のあり方や、苦情解決のためのマニュアルの作成も検討されたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 〔退職者が数名いるが、引継ぎ期間を取り、その影響を最小限に留める努力をしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取、スムーズに移行できるように配慮している。 〔新しい職員とは、1ヵ月間、短くても1週位の引継ぎ期間を取っている。〕		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 〔管理者から研修内容を周知し、雇用形態には関係なく参加できている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 〔研修報告書を提出するとともに、部署会での報告をはじめ、緊急に報告をし方がよいと思われる内容については、朝の申し送り時に報告したりと研修内容の共有はできている。〕	○	研修等は、職員の質の確保、向上にとって不可欠なものである。研修の年間計画を立て、計画的・積極的に参加されることを期待する。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 〔 〕 <input type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 〔 〕	○	地域内の事業所から勉強会の誘いはあるが、夜間であることから研修には参加していない。同業者との交流や連携を図ることにより、事業所や地域でのサービス水準の向上につながる。参加することを期待する。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 〔本人や家族に事業所に2～3回来てもらい昼食を共にし、事業所に適応できるかを家族等に見極めてもらい入居に移行している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 〔入居希望者に、管理者、リーダーで家庭等を訪問し、面接を行っている。〕	○	利用者の生活歴等は、本人、家族、ケアマネージャーから収集しているが、利用者の全体像が分かるものにはなっていないので、利用者一人ひとりの個別性が明確になる情報の収集方法や記録のまとめ方を検討されることを望む。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	<input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 〔利用者一人ひとりに事業所内での役割が出来ており、その役割を大切に、出来ることには手を出さず、見守り、出来にくいことにはさりげなく支援する体制ができている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 〔利用者一人ひとりに活気があり、それぞれに心を寄せ合い協働しながらの生活がある。利用者、職員が一体感を持ち日々の暮らしをつくり上げている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 〔生活の技や文化を職員が教えてもらう場面がたくさんある。渋柿は、干す前に熱湯にくぐらせると、腐敗せず、虫もこない。芋を蒸し切って、えびらに干し東山を作る。七夕様の飾り方を習うなど、この関係性は日常生活の中で自然に構築されている。〕		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 〔職員や利用者間の会話の中で、家に帰りたい、お墓参りに行きたいなどの希望や意向等の把握に努めている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 〔 〕		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 〔家族の要望は、来訪時や電話をかけるなどして計画に反映しているが、本人の要望のない計画がある。計画自体は、課題について導くアセスメントにバラつきがある。〕 <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 〔担当性を取っており、部署会でアセスメント、カンファレンス、モニタリングを行っている。利用者はカンファレンスに参加をするが、家族の参加はない。〕	○	情報収集が十分でなく、アセスメントにバラつきがあるため、研修会等で見直しをされたい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 〔家族から要望があった時、また退院後や、急に認知症が進行したときなど、その都度見直しをしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 〔 〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながら生活が継続ができるように努めている。 〔かかりつけ医の受診は家族で対応しているが、家族が対応できないときは、職員が同行するなど、柔軟に支援している。協力病院の受診は、職員で対応している。〕 <input type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 〔定期的に外泊をしている利用者があり、また外泊期間に制約もなく、自由な外泊を支援する体制も出来ている。〕	○	看取り体制ができれば、安心して事業所で暮らし続けることができる。母体法人が医療機関でもあり、検討を期待する。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 〔通院の付き添いをした職員は、医師の情報を介護記録、申し送りノートに記載。家族が同伴した場合には、家族から聞き取り、職員が記録し共有できている。〕		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 〔医療度が高くなれば、医師の指示により入院している。終末期の対応について、看取りの指針等を作成されたい。〕 <input type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように取り組んでいる。 〔具体的な検討には至っていない。〕	○	看取り体制ができれば、安心して事業所で暮らし続けることができる。母体法人が医療機関でもあり、検討を期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 〔特に排泄介助においては、近くで声をかけるなど、気配りさりげない態度で接しており、利用者の誇りやプライバシーを損ねていない。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> の職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 〔個人情報の保護については、部署会で折に触れて話しているが、面会簿について個人情報保護の観点から、面会シートに変更しその都度処理をする工夫を望む。〕		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 〔それぞれの利用者のしたいと思っていることを大切にした支援をしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 〔業務を優先することなく、利用者からの希望に柔軟に支援している。〕		
(2)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 〔畑で収穫した野菜を使い、それぞれの利用者は出来ることを積極的に生き生きと楽しそうに、職員と共に調理している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 〔 〕		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 〔入浴希望等を把握し支援するようにしている。夜間入浴の希望はないが、希望があれば対応する。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 〔 〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 〔利用者の生活歴の情報収集は少ないが、日々の暮らしの中で把握している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 〔自然発生的に出来た役割、洗濯物の取り込み、洗濯たたみ、掃除、食事づくり、野菜を切る、和えの味付け等、利用者の目に留まったら自主的に行うなど、職員もこれらの役割を大切に支援を行っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 〔出来ることについては、声がけし日々の積み重ねで役割となるよう働きかけをし、役割として定着している。〕		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 〔利用者の大半が地域の出身であり、馴染みのスーパーや、農協の良心市、美容院に出かけている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 〔利用者の気分や天候に応じ、日常的に広い敷地内の散歩をはじめ、家族会で花見に行ったり、楽しみの外食に出かけている。〕		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 〔1人で外出する利用者は把握しており、職員はさりげなく付き添い、散歩もかねて一緒に出かけるなど対応している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 〔馴染みの美容院やコンビニの職員、近隣の人から連絡があるなど、地域住民との関係づくりはできている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 〔防火訓練には地域のコンビニエンスストアの職員が参加するなど、年2回行われている。なお同じ敷地内にある母体法人の介護老人保健施設や地域住民の協力も得て、防災訓練を行うことも検討されたい。〕 <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 〔消火器は所定の場所に設置している。〕	○	非常食等の備蓄に早急に取り組まれない。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 〔献立は利用者の希望を聞き、四季折々の食材を取り入れている。色彩も食欲をそそるもので、薄味である。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 〔 〕		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 〔木炭を入れる古いアイロンや、大正時代の小学校の教科書等、馴染みの物を集め、身近に触れ合う事が出来るよう配慮している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 〔壁面には、落ち葉を染色した秋らしい貼り絵が飾られたり、少し季節はずれな感じはあるが、楽しい思い出がある運動会の写真は除けずに飾っているなど、それぞれに工夫が見られる。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 〔秋を感じる菊の花や、壁面には四季を感じる貼り絵、干し柿など、季節をふんだんに感じることでできるものとなっている。〕		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 〔馴染みのタンスやプラスチックの収納箱等、利用者の顔が見える個性的で生活感がある居室となっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 〔雑然としているが、力強く、暖かさを感じる。職員が見守っている事が分かる居室になっている。〕		